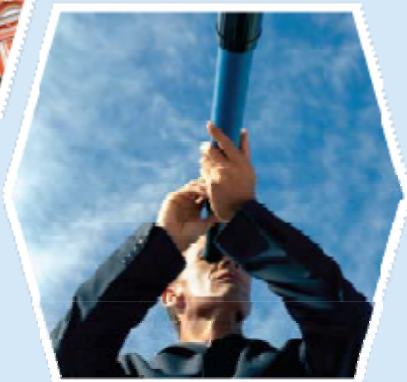




第2回 SPARC Japan セミナー2011 「今時の文献管理ツール」ワークショップ

インターネットベース 学習・教育・研究支援ツール RefWorksのさらなる可能性

プロクエスト日本支社
エリア・セールス・エグゼクティブ RefWorks-COS担当
川畑 篤之 (Atsuyuki Kawabata)

本日のアジェンダ



- **1. RefWorksの文献管理**
 - 1-1. 文献管理の必要性
 - 1-2. パーソナル文献データベースをWeb Site上に
- **2. RefWorksの利用**
 - 2-1. RefWorksの利用動向
 - 2-2. RefWorksの共有機能
 - 2-3. 機関としてRefWorksを使う
- **3. RefWorksの機能**
 - 3-1. 多言語対応(引用スタイル)
 - 3-2. APIを公開
 - 3-3. 充実したカスタマーサポート
 - 3-4. RefWorksを学習・教育・研究の中心に

1. RefWorksの文献管理

1-1. 文献管理の必要性



外山滋比古. 思考の整理学. 筑摩書房. 1986.

[※東京大学・早稲田大学・慶應義塾大学・大阪大学の各生協で最も読まれた本
(2010年2月大学生協調べ http://www.univcoop.or.jp/campus/book/best10_02.html)]



学生が情報整理に苦勞していることが, 読まれ続けている理由のひとつ



学生には, 機関全体・組織単位でのサポートが不可欠

1. RefWorksの文献管理

1-1. 文献管理の必要性



インターネット
全盛の時代

学習・研究の習慣を学生
時代に身につける必要性

膨大な検索対象
(⇒ 情報を保存する必要性)

同じ検索の繰返しを避けたい

同じ検索結果は常に得られない

情報を選別し管理する
能力が不可欠

RefWorks : インターネット時代のノート / カード

1. RefWorksの文献管理

1-1. 文献管理の必要性



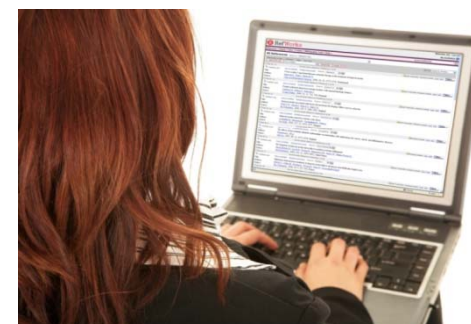
レポート・論文を作成する際には引用・参考文献リストの活用

⇒ “コピペ”の時代

⇒ 正しく引用することが重要

⇒ RefWorksを活用することがアカデミックライティングの訓練に

⇒ 感想文からレポート, そして学術論文へ

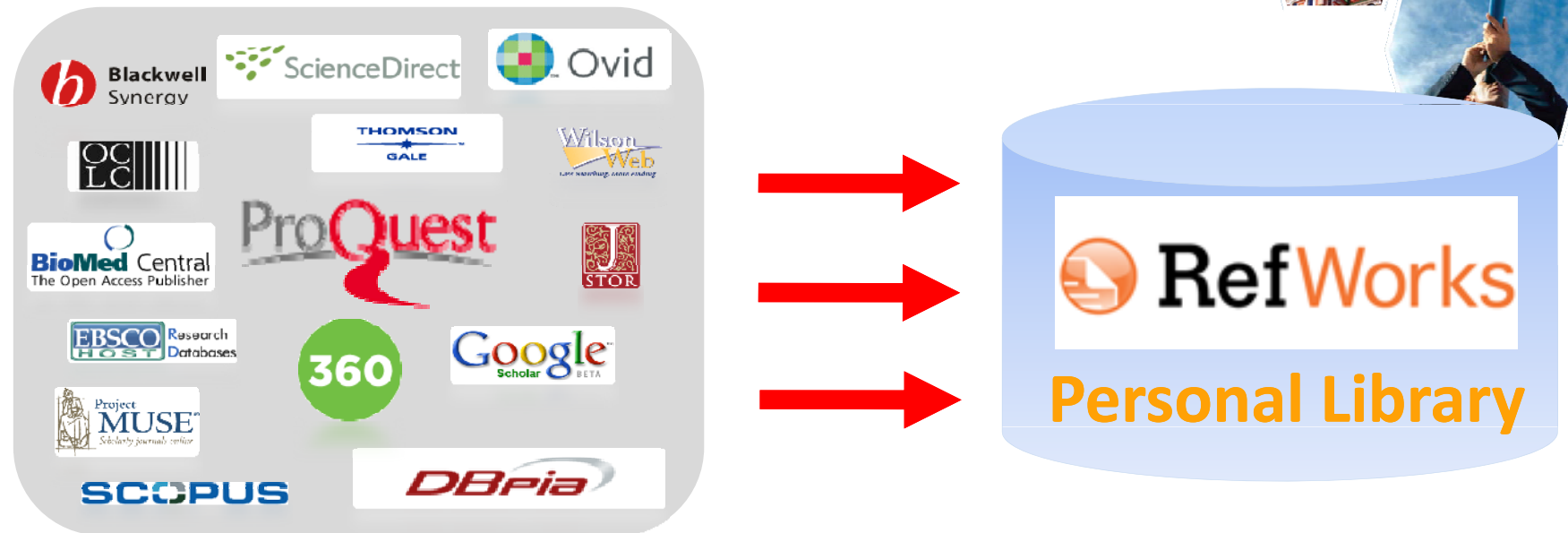


RefWorksは, 学生から研究者までの論文作成を支援する

⇒ 機関全体での学習・教育・研究支援にRefWorksは有効

1. RefWorksの文献管理

1-2. パーソナル文献データベースをWeb Site上に



OPAC / Database / E-Journal / E-Book / Web Site...

RefWorksサーバに保管

学習・教育・研究に活用

1. RefWorksの文献管理

1-2. パーソナル文献データベースをWeb Site上に



あなたが検索中の対象: 103 データベース (リストの表示 | 変更 >)

1 最近の検索 | 8 選択したアイテム | マイリサーチ | Exit

Basic Search | 詳細 ▾ | 出版物 | 参照

カスタム設定 | 日本語 ▾ | ヘルプ ?

ProQuest library information science

全文 査読済み

検索の変更 | 検索のヒント

検索結果: 2582509*

検索結果内を検索 | 関連図及び表の検索

アラートを作成 | RSS フィードの作成 | 検索を保存

提案される主題 Hide ▲

- Libraries AND Library science
- Library science
- Library science AND Information systems
- Library science AND Librarians
- Library science AND Information retrieval
- Library science

8 選択したアイテム [Clear] | マイリサーチへ保存 | 電子メール | 印刷 | 書誌情報 | エクスポート | フォルダ

1-50を選択 Brief view | Detailed view

- ☒ 1 [Robust Decision Making - AFOSR-BAA-2011-01](#) COS Funding Opportunities (December 31, 9999)
...actions from an overwhelming flow of **information** is daunting. Basic research is ...data into useful conceptual **information** in an efficient, real-time manner, and
書誌情報/抄録
- ☒ 2 [NRC Summer Employment Program](#) COS Funding Opportunities (December 31, 9999)
...disciplines such as **library sciences**, communications, and marketing. Students
書誌情報/抄録
- ☒ 3 [Research Networking](#) COS Funding Opportunities (December 31, 9999)
...archaeology, classics and **library, information** and museum studies. Panel D This
書誌情報/抄録

RefWorks

RefWorks Japan University
ようこそ、川俣篤之さん

言語 | RefWorks Classic | プロファイル | ヘルプ | お問い合わせ | RefMobile | ログアウト

レコード 参照 検索 参考文献 ツール ヘルプ

レコード検索

フォルダの作成 参考文献の作成 レコードの作成

RefWorksについて

レコード > 最近インポートされたレコード

レコード フォルダの整理および共有 1 2 次へ 最後へ

対象レコード 選択したレコード ページ すべてのレコード 並べ替え 著者、第 1 標準ビュー 表示形式

- ☐ レコードID 123 一般記事レコード 1 の 50
著者、第 1 ソース [3112.Air Force Office of Scientific Research](#) 875 North Randolph Street Room
フォルダ [COS Funding Opportunities, UNSPECIFIED, Unrestricted](#)
最近インポートされたレコード
- ☐ レコードID 130 一般記事レコード 2 の 50
著者、第 1 ソース [3112.Air Force Office of Scientific Research](#) 875 North Randolph Street Room
フォルダ [COS Funding Opportunities, UNSPECIFIED, Unrestricted](#)
最近インポートされたレコード
- ☐ レコードID 131 一般記事レコード 3 の 50
著者、第 1 [3112.Air Force Office of Scientific Research](#) 875 North Randolph Street Room

フォルダ

- 最近インポートされたレコード
- 0 総記 (0)
- 1 哲学 (0)
- 2 歴史 (0)
- 3 社会科学 (0)
- 4 自然科学 (0)
- 5 技術 (0)
- 6 産業 (0)
- 7 芸術 (0)
- 8 言語 (0)
- 9 文学 (0)

クイックアクセス

- マイリスト
- 詳細検索
- インポート
- エクスポート
- マイズ
- フォーマットプレビュー
- フォーマット管理ツール

RefWorks 2.0プレビュー

Direct Export機能により、容易にRefWorksへの
データダウンロードが可能

1. RefWorksの文献管理

1-2. パーソナル文献データベースをWeb Site上に

言語 | RefWorks Classic | プロフィール更新 | カスタマイズ | お問い合わせ | RefMobile | ログアウト

RefWorks

RefWorks Japan University
ようこそ、川畑篤之さん

レコード 参照 検索 参考文献 ツール ヘルプ

レコード検索

フォルダの作成 参考文献の作成 レコードの作成

RefWorksについて

レコード > すべてのレコード

レコード フォルダの整理および共有

1 2 3 4 次へ 最後へ

対象レコード
☒ 選択したレコード ☐ ページ ☐ すべてのレコード

並べ替え
著者、第 1

表示形式
標準ビュー

レコードID 6	一般記事 レコード 1 の 100
著者、第 1	1159\Brackenfell,Shoprite Checkers/SABC 2 Woman of the Year Award\P.O.Box
ソース	COS Funding Opportunities , UNSPECIFIED, South Africa
フォルダ	最近インポートされたレコード;
レコードID 24	一般記事 レコード 2 の 100
著者、第 1	3112,Air Force Office of Scientific Research\875 North Randolph Street\Room
ソース	COS Funding Opportunities , UNSPECIFIED, Unrestricted
フォルダ	最近インポートされたレコード;
レコードID 32	一般記事 レコード 3 の 100
著者、第 1	3112,Air Force Office of Scientific Research\875 North Randolph Street\Room
ソース	COS Funding Opportunities , UNSPECIFIED, Unrestricted
フォルダ	最近インポートされたレコード;
レコードID 33	一般記事 レコード 4 の 100
著者、第 1	3112,Air Force Office of Scientific Research\875 North Randolph Street\Room
ソース	COS Funding Opportunities , UNSPECIFIED, Unrestricted
フォルダ	最近インポートされたレコード;

Close

フォルダ

最近インポートされたレコード

- 0総記 (0)
- 1哲学 (0)
- 2歴史 (0)
- 3社会科学 (0)
- 4自然科学 (0)
- 5技術 (0)
- 6産業 (0)
- 7芸術 (0)
- 8言語 (0)
- 9文学 (0)

クイックアクセス

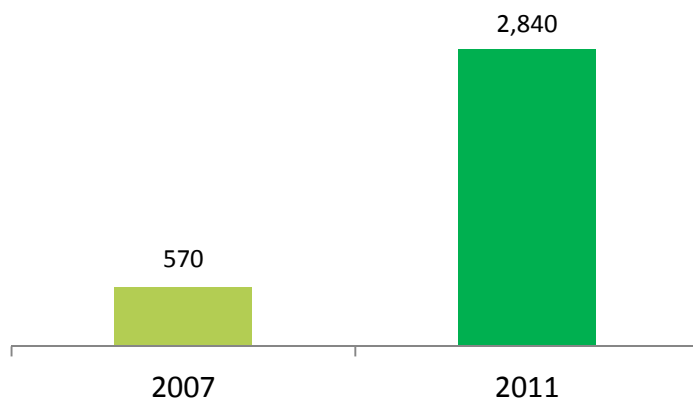
- マイリスト
- 詳細検索
- インポート
- エクスポート
- カスタマイズ
- 出力フォーマットプレビュー
- 出力フォーマット管理ツール

サポート

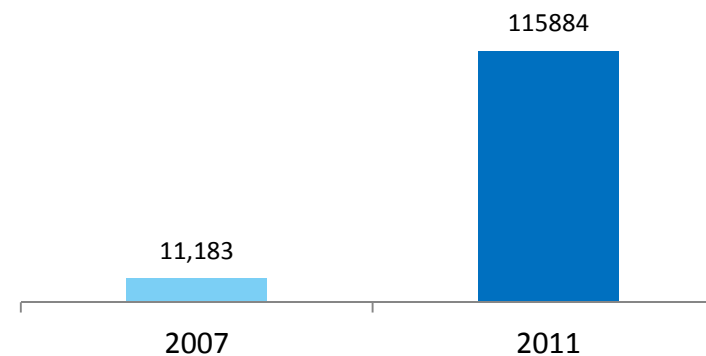
- RefWorks 2.0プレビュー

2. RefWorksの利用

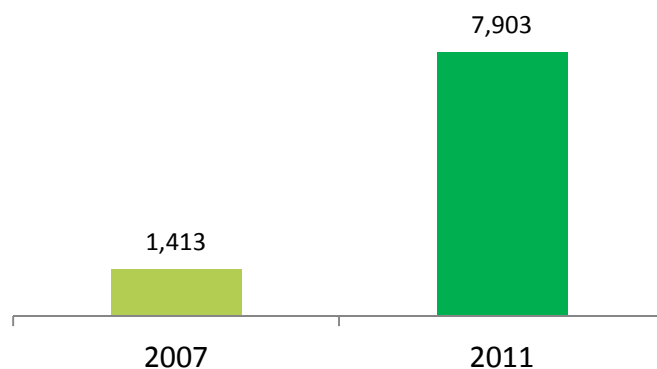
2-1. RefWorksの利用動向



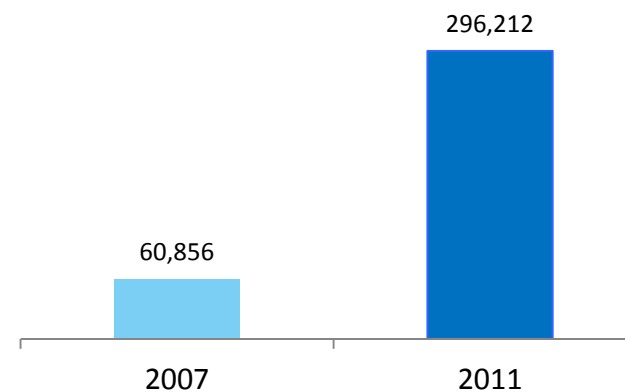
国立総合大学(全ユーザ数)



国立総合大学(全文献数)



私立総合大学(全ユーザ数)



私立総合大学(全文献数)

2. RefWorksの利用

2-2. RefWorksの共有機能

The screenshot displays the RefWorks Japan University web interface. At the top, there's a navigation bar with links like '言語', 'RefWorks Classic', 'プロフィール更新', 'カスタマイズ', 'お問い合わせ', 'RefMobile', and 'ログアウト'. The main header shows the 'RefWorks' logo and 'RefWorks Japan University' with a welcome message 'ようこそ、川畑篤之さん'. Below the header, there are tabs for 'レコード', '参照', '検索', '参考文献', 'ツール', and 'ヘルプ'. A search bar is present on the right. The left sidebar contains buttons for 'フォルダの作成', '参考文献の作成', and 'レコードの作成'. The main content area shows a list of folders under 'レコード > すべてのレコード'. The '012図書館学' folder is highlighted with a red box. A context menu is open over this folder, showing options: '共有リンク', '非共有化', '共有フォルダのオプション', and 'この共有をメールする'. The 'この共有をメールする' option is also highlighted with a red box. The right sidebar shows a 'フォルダ' list with categories like '最近インポートされたレコード', '0総記', '1哲学', '2歴史', '3社会科学', and '4自然科学'. At the bottom right, there's a 'サポート' section with links to 'RefWorks 2.0プレビュー' and 'オンラインセミナー'.

2. RefWorksの利用

2-2. RefWorksの共有機能



メール送信

発信先: atsuyuki.kawabata@japan.proquest.com

送信元: atsuyuki.kawabata@japan.proquest.com

件名: My RefWorks データベース

メッセージ

http://www.refworks.com/refshare2?site=023911081483200000/RWWEB103711244/_48,231,183,143,232,168,732&enc=y

このメール送信者は、RefWorks情報データベースのすべてまたは一部へのアクセスを許可しました。

表示されているリンクをクリックすると、RefShare上の情報を閲覧することができます。データベース所有者は、情報の印刷、エクスポート、参考文献生成など、関連する機能を行使することができます。

RefShare

参照 検索 ヘルプ このデータベースについて

参考文献の作成 エクスポート

レコード > すべてのレコード

レコード	対象レコード	表示形式	作業ボタン
レコードID 9550	学術論文レコード 1 の 8	デフォルト	標準ビュー
著者	Kecskemeti Istvan		
表題	Digitalization of Cultural Heritage in Documentary Form		
ソース	Nordisk Arkivtyt. 2011, 56, 1, 16-16-18, Islands Nationalarkiv, Reykjavik, Iceland, Iceland		
レコードID 9552	学術論文レコード 2 の 8		
著者	Troman Anthony		
表題	The Digital Islam Theses on ETHOS Project (DITO-ETHOS)		
ソース	ALISS Quarterly. 2010, 5, 4, 24-24-26, Association of Librarians and Information Professionals in the Social Sciences, United Kingdom		
レコードID 9551	学術論文レコード 3 の 8		
著者	Vodopivec Jelenec, Dorothea Anna		
表題	The Newspaper Slovenec in Slovenian Libraries: Possibilities of Conservation Restoration Treatment and Reproduction		
ソース	Knjazica. 2010, 54, 3, 97-97-115, Narodna in Univerzitetna Knjiznica, Ljubljana, Slovenia, Slovenia		

RefWorksの共有機能を活用すれば、RefWorks契約機関でない方にもパーソナルデータベースを公開可能

2. RefWorksの利用

2-3. 機関としてRefWorksを使う(国内大学の例)

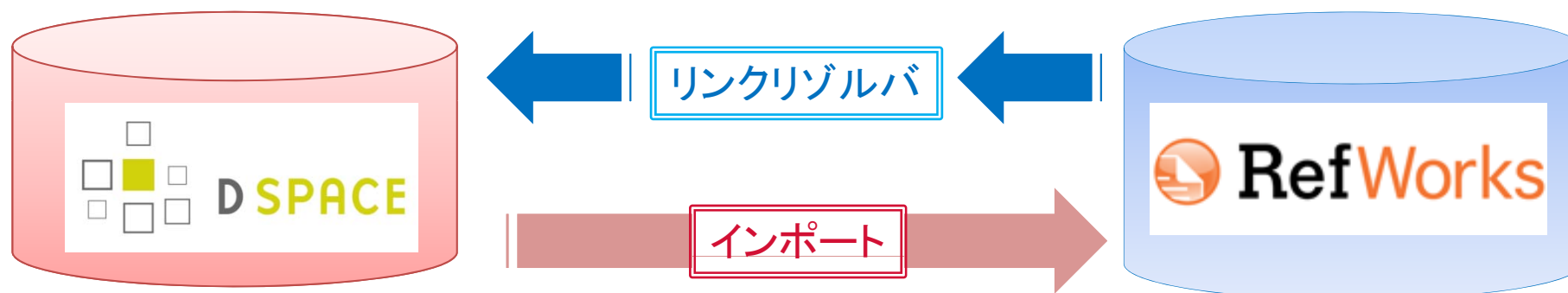


RefWorksの共有機能

- 共同研究で活用(診療ガイドライン作成, 科研費研究...)
- カスタマイズ可能なユーザフィールドを活用
- 文献レビューの際, RefWorksから出力したリストを活用

RefWorksとDSpaceを連携

- RefWorksとDSpace双方での業績管理が可能に
- 教員が業績情報を自ら公開可能



2. RefWorksの利用

2-3. 機関としてRefWorksを使う(ゼミの例)

例) 総合政策学部のPQさんは、「図書館情報学」について資料を検索し卒業論文を執筆しようと考えていた



必読文献『〇〇』がないのでは？

『△△』という資料の内容は◇◇

雑誌にも目を向けてみよう

日本語文献だけでなく英語文献は？

オンライン上で参考文献リストの推敲



参考文献リストのブラッシュアップが可能

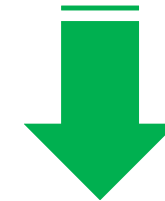
資料が集まったRefWorksフォルダは、共有設定し公開可能

2. RefWorksの利用

2-3. 機関としてRefWorksを使う(韓国の例)



図書館員・教員・学生が、
RefWorksを活用して
文献情報のやりとり
(学習・教育・研究の支援)

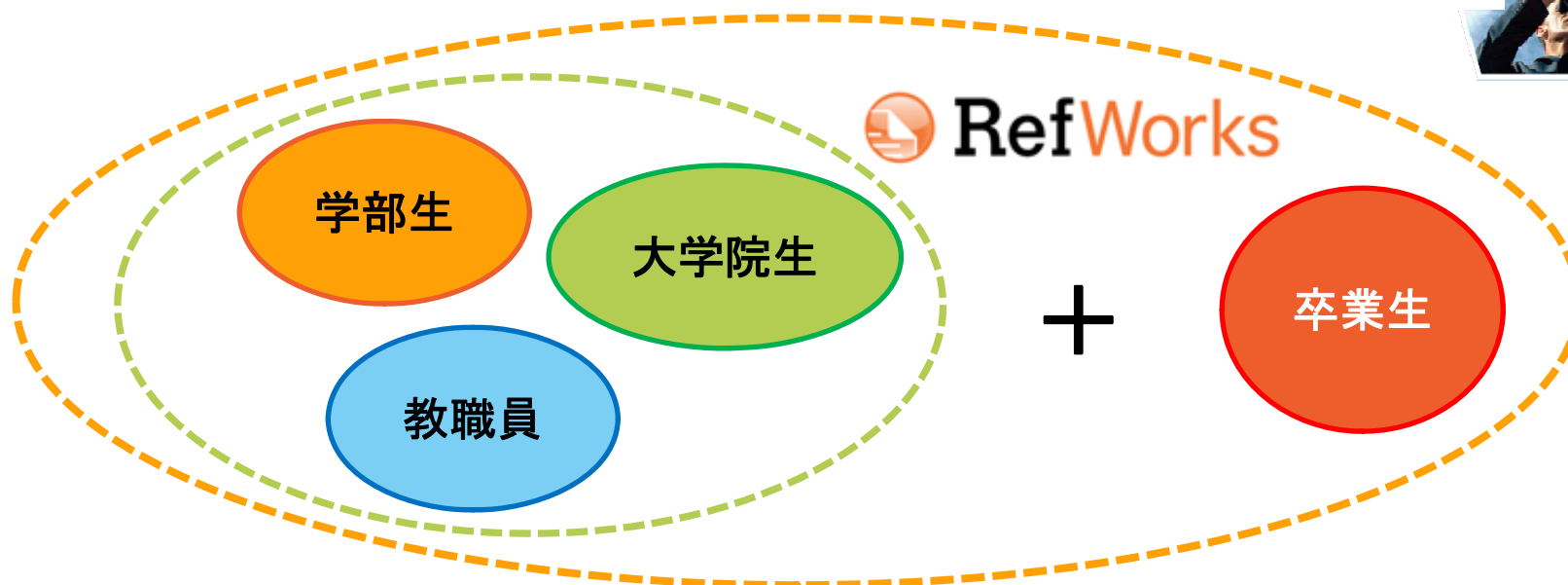


機関利用可能な
RefWorksだからこそ
実現できる
図書館サービス

2. RefWorksの利用

2-2. 機関としてRefWorksを使う

RefWorksは卒業生プログラムを2009年からリリース



＜RefWorks導入前＞
ユーザは卒業直前に文献データをダウンロードし個人管理



＜RefWorks導入後＞
契約機関の卒業生は、卒業後もRefWorksを使用可能

3. RefWorksの機能

3-1. 多言語対応(引用スタイル)



『図書館界』執筆要綱

1. 原稿は横書きとし、完全原稿とする。
2. 常用漢字、現代かなづかいを用いる。
3. 句読点はコンマ(,)およびマル(.)を用い、文中の引用は「」内に入れる。
4. 数字については、引用文および慣例的な漢数字の表現以外は、アラビア数字を用いる例:数百人,何千年,第三者,二者択一,四分五
5. 外国人名や外国地名については、よく知られているもの以外は、初出の個所にその正式名称を丸括弧に入れて付記する。
6. 略称・略語については、初出の個所にその正式名称を丸括弧に入れて付記する。
7. 図表はそのまま版下として使用できるように、明瞭な原稿を別紙で添付する。
8. 引用文献などは、本文中の該当個所の右肩に通し番号を付し、本文末尾に記述する。
9. 引用文献などは、以下の例に従って記述する。(下線部分は印刷時にイタリック体になる)

日本語文献・英語文献は
区別されている

(1) 雑誌論文を引用するとき

例1) 共著の場合

市川直美, 北村幸子「図書館ネットワークの活用と授業実践」『図書館界』54(2), 2002.7, p.122-128.

例2) 英語論文で共著の場合

Rachael Naismith and Joan Stein, "Library Jargon: Student Comprehension of Technical Language Used by Librarians," College & Research Libraries, 50, Sep.1989, p.543.

(2) 図書を引用するとき

例1) 叢書名を記述する場合

国内雑誌の投稿規定ではしばしば、引用する資料の言語別に異なる引用スタイルが求められる

例3) 翻訳図書の翻訳者名を記述する場合

ジョン・F・マザー (青山正樹 訳) 『図書館界』54(2), 2002.7, p.122-128.

(『図書館界』 <http://www.nal-lib.jp/kai/kitei.html>)

3. RefWorksの機能

3-1. 多言語対応(引用スタイル)



『図書館界』執筆要綱

1. 原稿は横書きとし、完全原稿とする。
2. 常用漢字、現代かなづかいを用いる。
3. 句読点はコンマ(,)およびマル(。)を用い、文中の引用は「」内に入れる。
4. 数字については、引用文および慣例的な漢数字の表現以外に、アラビア数字を用いる。
漢数字を用いる例: 数百人, 何千年, 第...
5. 外国人名や外国地名については、よく知れた略称・略語については、初出の個所にその略称・略語として使用できるようにする。
6. 図表はそのまま版下として使用できるようにする。
7. 引用文献などは、本文中の該当個所の右側に記述する。
8. 引用文献などは、以下の例に従って記述する。

(1) 雑誌論文を引用するとき

例1) 共著の場合

市川直美, 北村幸子
2002.7, p.122-123

例2) 英語論文で共著の場合

Rachael Naismith and
of Technical Library
50, Sep.1989, p.122-123

(2) 図書を引用するとき

例1) 叢書名を記述する場合

森耕一『公立図書館
図書全体を参照する』

例2) 図書中的一論文の場合

土居安子「子どもの
会図書館の自由に関する
論文全体を参照する」

例3) 翻訳図書の翻訳者名を記述する場合

ジョン・フェザー
訳

RefWorks を授業に活かすための、浪速大学図書館の次の課題としては、「初年次生への教育と図書館の連携である」{{9412 市川直美 2002}}のだが、それにあたっては、海外の事例{{9550 Keckskemeti,Istvan 2011}}と、先駆的な経験をしている兵庫産業大学の事例{{9417 森耕一 1983}}を参考にしたい。その過程においては、「情報管理の大切さは初年次教育にあり」という{{9551 Vodopivec,Jedert 2010}}Vodopivec の理論が活用できるであろう。←

Write-N-Cite III

MS Word Status : toshokankai..doc Edit Citation

通覧 ▼ 参考文献 ツール ▼ ヘルプ RefWorksを検索 添付ファイル Go

Atsu11_図書館界 フォルダ (8レコード)

並べ替え 著者、第 1

引用する 詳細をみる	Keckskemeti, Istvan	2011	Digitalization of Cultural Heritage in Documentary Form
引用する 詳細をみる	Troman, Anthony	2010	The Digital Islam Theses on EThOS Project (DITO-ETHOS)
引用する 詳細をみる	Vodopivec, Jedert	2010	The Newspaper Slovenec in Slovenian Libraries: Possibilities of Conservation-Restoration Treatment and Reproduction
引用する 詳細をみる	ジョン・フェザー		情報社会をひらく：歴史・経済・社会
引用する 詳細をみる	市川直美	2002	図書館ネットワークの活用と授業実践
引用する 詳細をみる	森耕一	1983	公立図書館原論

3. RefWorksの機能

3-1. 多言語対応(引用スタイル)



RefWorks を授業に活かすための、浪速大学図書館の次の課題としては、「初年次生への教育と図書館の連携である」¹⁾市川直美 2002²⁾のだが、それにあたっては、海外の事例³⁾と、先駆的な経緯⁴⁾Keckskemeti,Istvan 2011⁵⁾と、先駆的な経緯⁶⁾1983⁷⁾を参考にしたい。その過程においては、⁸⁾Vodopivec,Jedert 2010⁹⁾Vodopivec の理論

Write-N-Cite III

☐ Always on top

通覧 ▾ 参考文献 ツール ▾ ヘルプ

Atsu11_図書館界 フォルダ (8レコード)

引用する 詳細をみる	Keckskemeti, Istvan	2011	Digitalization
引用する 詳細をみる	Troman, Anthony	2010	The Digital
引用する 詳細をみる	Vodopivec, Jedert	2010	The Newsp
引用する 詳細をみる	ジョン・フェザー		情報社会
引用する 詳細をみる	市川直美	2002	図書館ネ
引用する 詳細をみる	森耕一	1983	公立図書

RefWorks を授業に活かすための、浪速大学図書館の次の課題としては、「初年次生への教育と図書館の連携である」¹⁾市川直美 2002²⁾のだが、それにあたっては、海外の事例³⁾と、先駆的な経緯⁴⁾Keckskemeti,Istvan 2011⁵⁾と、先駆的な経緯⁶⁾1983⁷⁾を参考にしたい。その過程においては、「情報管理の大切さは初年次教育にあり」という⁸⁾Vodopivec の理論が活用できるであろう。⁹⁾

- 1) 市川直美、北村幸子「図書館ネットワークの活用と授業実践」『図書館界』54(2), 2002.7, p.122-128. ↵
- 2) Istvan Keckskemeti. "Digitalization of Cultural Heritage in Documentary Form"*Nordisk Arkiv*56(1)201116-16-18 ↵
- 3) 森耕一『公立図書館原論』全国図書館協議会, 1983, p.212. (図書館学大系 1) ↵
- 4) Jedert Vodopivec and Anja Devetak. "The Newspaper Slovenec in Slovenian Libraries: Possibilities of Conservation-Restoration Treatment and Reproduction"*Knižnica*54(3)201097-97-115 ↵

RefWorksは言語別の引用スタイルにも対応

3. RefWorksの機能

3-2. APIを公開



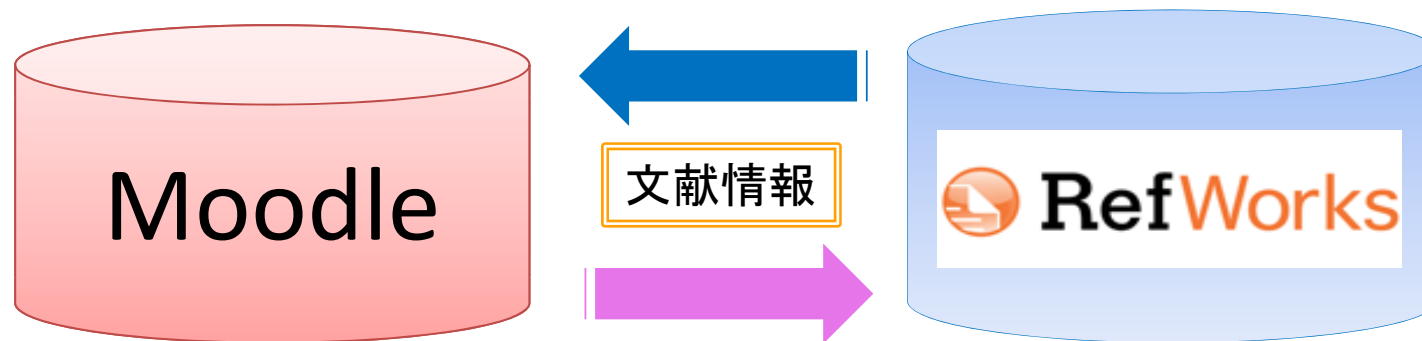
RefWorksはAPIを公開

⇒ 別アプリケーションからRefWorksのデータを取得可能

Open University (UK) では, RefWorksのAPIをMoodleで利用

⇒ Moodle上に文献情報を持つ必要がない

⇒ 学科別や専攻コース別の文献情報が容易に作成可能
(フルテキストへのLinkも)



3. RefWorksの機能

3-3. 充実したカスタマーサポート



図書館・代理店と協同して講習会を多数実施
(※オンサイト／オンライン)

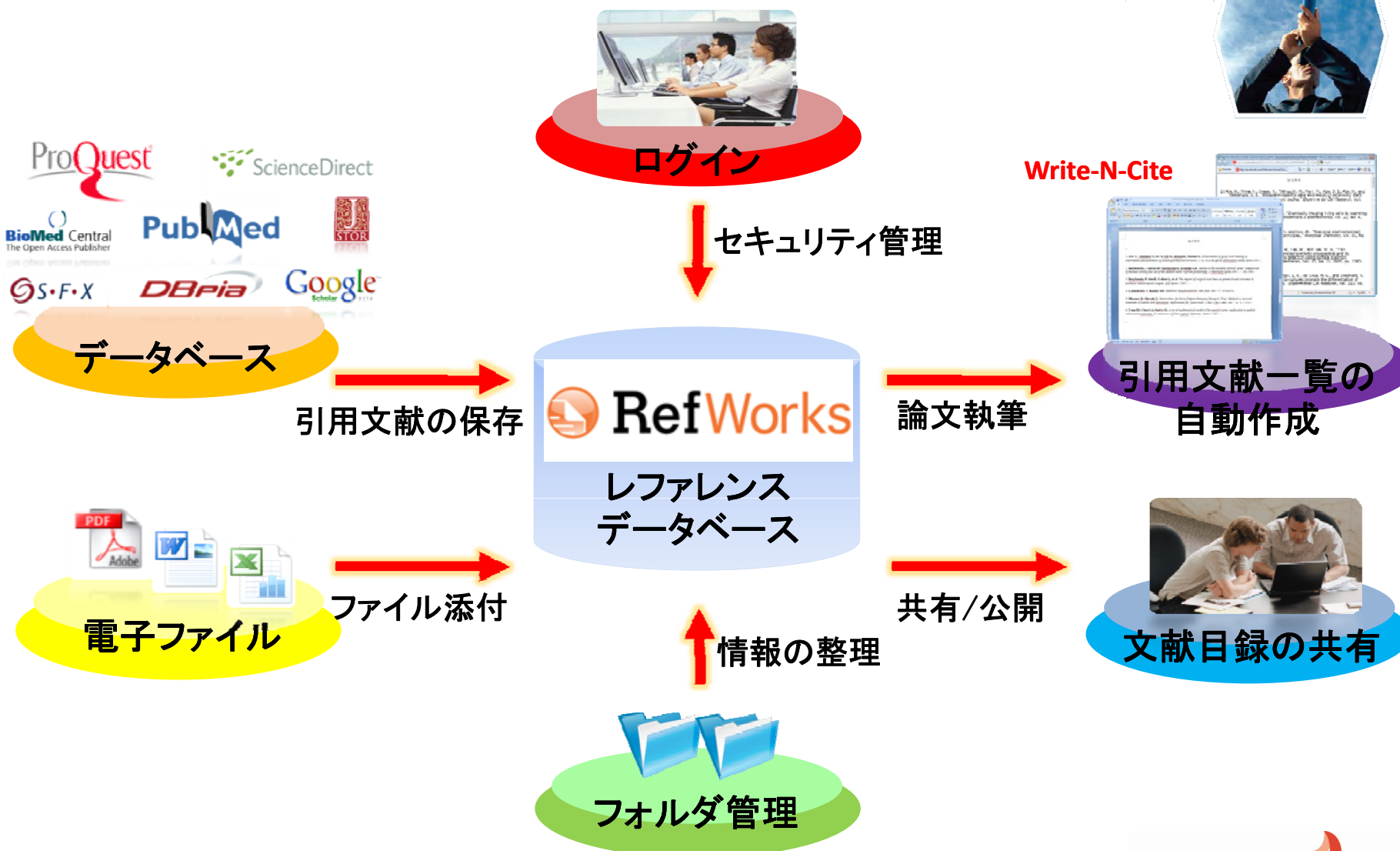
図書館からのご要望を反映して出力スタイルを作成



利用者からの質問・疑問へ随時回答

3. RefWorksの機能

3-4. RefWorksを学習・教育・研究の中心に





Thank you!!
ENJOY RefWorks

川畑 篤之 (Atsuyuki Kawabata)
プロクエスト日本支社
エリア・セールス・エグゼクティブ RefWorks-COS担当
Email: atsuyuki.kawabata@japan.proquest.com
Tel: 045-342-4780

RefWorks  COS